

メイクは「カッコいいダンサー」に近づくスイッチ、自分で選んで自分で買うことにもこだわり

3 分ブリーフィング

【パート A：今日のメイクの話】

根拠：「メイクしてると、なんか準備できてる感じがする」「よし、やるぞってなる」「メイクしてないと落ち着かない」「自分がしっくりこないとモヤモヤする」

推論：メイクはダンスと結びついた自己準備のスイッチとして機能している。友達からの承認より「自分がしっくりくること」が動機の核心にある。

FD：杏にとってメイクは「よし、やるぞ」と気持ちを切り替えるスイッチであり、メイクの成否が一日の感情的コンディションを左右するほど内面化されている。

【パート B：メイクを始めたきっかけ】

根拠：「ダンスの先生がメイクしていいよって言って」「ステージに立つ人みたいな感じ。いつもの自分じゃない感じがしてよかった」「ダンスうまい人ってメイクもちゃんとしてるイメージ」「自分と同じくらいか少し上の子を見て、こんなふうになりたいって思う」

推論：入口はダンスの先生からの許可という権威的な文脈。「いつもの自分じゃない感じ」という非日常的な自己変容体験がメイクへの動機を根付かせた。

FD：ダンスの先生の許可をきっかけに「ステージに立つ人みたいな自分」という自己変容体験がメイクへの動機を強固に根付かせた。ダンスとメイクは杏の中で一体のものとして結びついている。

【パート C：現使用アイシャドウについて】

根拠：「自分で選んで自分で買ったかった」「どれでもいいじゃないって言われそうで」「自分のお金で買うから特別な感じがした」「いきなり派手なの買ったら絶対ダメって言われると思って」「ロムアンドのブラウン系見せたら、これくらいならいいかって」

推論：「自分で決めた」という自己決定感が購買動機の核心。メイクは「カッコいいダンサーに近づくスイッチ」であるからこそ、そのスイッチは自分が選んだ

ものでなければ意味がないという意識がある。同時に親の許容範囲を事前に読んで行動する戦略的思考が同居している。

FD：杏の購買行動の核心は自己決定感にある。親の反応を先読みしてロムアンドのブラウン系を見せるという行動は、高い社会的知性を示している。

【パートD：キャンメイクについて】

根拠：「かわいい感じ。明るいい色が多いイメージ。子供っぽい感じがちょっとする」「キャンメイクにもブラウン系あるって聞いて、それなら買ってみたいかなって」「思ったより大人っぽくてかわいかった」「発表会はロムアンドで、普段のお出かけはキャンメイクで」

推論：当初「子供っぽい」と距離を置いていた CANMAKE が、ブラウン系の存在を知り「気軽なケ用ブランド」として位置づけが変化しつつある。ロムアンドをハレ用・CANMAKE をケ用として階層化する発想は際立っている。

FD：CANMAKE は「子供っぽい」から「気軽に使えるブラウン系」へと認識が変化しつつあり、日常使いのエントリーブランドとしての可能性を示唆している。

【パートE：メイクをがんばる理由・これから】

根拠：「自分のことが好きになれる感じ」「ダンサーはメイクもできないといけないイメージがあって、今からちゃんとできるようになりたい」「メイクも含めてダンサーって感じがする」「自分をもっとよくしてくれるもの。ダンスも、見た目も、気持ちも。全部上げてくれる感じ」

推論：メイクはダンサーという将来像への投資として位置づけられている。趣味や遊びではなく、ダンサーとしての自己形成に必要なスキルとして捉えている。

FD：杏にとってメイクとはダンサーとしての自分を完成させるスキルであり、現在進行形の自己投資である。ダンスも見た目も気持ちも「全部上げてくれる」という表現に、メイクへの本質的な意味づけが凝縮されている。

【全体総括】

根拠：「準備できてる感じがする」「ステージに立つ人みたいな感じ。いつもの自分じゃない感じがしてよかった」「自分で選んで自分で買ったかった」「メイクも含めてダンサーって感じがする」「ダンスも、見た目も、気持ちも。全部上げてくれる感じ」「発表会はロムアンドで、普段はキャンメイク」「ちょっと特別な感じがしていい。みんなと同じじゃないのがなんか好き」

推論：杏にとってメイクはダンサーという将来像と不可分に結びついた自己形成のツールである。入口はダンスの先生からの許可であり、「ステージに立つ人み

たいな自分」という体験が動機を根付かせた。友達との同調ではなく自分なりの審美眼と意志で動いており、「自分で選んで自分で買う」へのこだわりはメイクへの強い意味づけの表れである。メイクは「カッコいいダンサーに近づくスイッチ」であるからこそ、そのスイッチは自分が選んだものでなければ意味がないという意識が行動の根底にある。

FD：杏にとってメイクとは「カッコいいダンサーに近づくスイッチ」であり、ダンスの時も普段のお出かけも自分を変えてくれる自己投資である。同調ではなく自己決定が動機の核心にあり、自分で選んで自分で買うというこだわりにもそのインサイトが貫かれている。CANMAKE についてはハレ用ロムアンドに対するケ用の日常使いエントリーブランドとしての可能性を示唆している。

対象者プロフィール

- 氏名：杏（あん）
- 学年・性別：小学4年生・女児
- 居住エリア：宮城県仙台市
- 父職業：食品メーカー
- 母職業：接客パート
- 学校：公立小
- 生まれ順：第1子（一人っ子）
- 世帯年収：650万円
- 小遣い：無（都度）
- 使用ブランド：ロムアンド（ベターザンパレット）
- CANMAKE 購入意向：とても買いたい
- メイク頻度・シーン：月2～3回・休日外出やダンス発表会時
- 購入区分：お年玉を原資に、本人が自購入

発言録

パートA：今日のメイクの話

AI モデレーター：こんにちは。今日はお話聞かせてくれてありがとうございます。今日、なんて呼んだらいい？

杏：あんって呼んでください。

AI モデレーター：あんちゃんね。ありがとう。今日話してくれたこと、お家の人には伝わらないから安心してね。さっそくだけど、今日のメイク、どんなふうにした？

杏：アイシャドウと、ちょっとチークもした。

AI モデレーター：どこかこだわったところある？

杏：アイシャドウ。ブラウン系で、ちょっと大人っぽい感じにしたいくて。

AI モデレーター：大人っぽい感じにしたかったんだね。それってどんな時にそうしたいって思うの？

杏：ダンスの発表会とかの時。あと、なんかちょっと気合い入れたい時。

AI モデレーター：メイクして気合いが入る感じってどういうこと？

杏：なんか、ステージに立つ時、ちゃんとしてないといけない感じがして。メイクしてると、なんか準備できてる感じがする。

AI モデレーター：メイクしてない時とメイクしてる時って、気分が違う？

杏：全然違う。メイクしてると、なんかスイッチ入る感じ。

AI モデレーター：スイッチ入る感じ、ってもう少し教えてくれる？

杏：なんか、メイクすると「よし、やるぞ」ってなる。ダンスの時とか特に。メイクしてないと、なんかまだ準備できてない感じがして落ち着かない。

AI モデレーター：メイクしてないと落ち着かないんだね。それって、ダンスの時だけ？

杏：ダンスが一番強いけど、お出かけの時もちょっとそういう感じある。

AI モデレーター：メイクしていくお出かけって、どんなお出かけの時？

杏：友達と買い物行く時とか。あとショッピングモールとか。

AI モデレーター：友達と行く時はだいたいメイクしていくの？

杏：だいたい。友達もメイクしてくる子いるから。

AI モデレーター：友達と一緒にメイクして出かける感じって、どんな感じ？

杏：なんか、一緒におしゃれしてる感じがして、楽しい。友達に「かわいい」って言ったり言ってもらったり。

AI モデレーター：それって嬉しい？

杏：うん。でも、自分が鏡見てかわいって思えるのが一番大事かな。

AI モデレーター：友達に言ってもらうのとどっちが大事なの？

杏：自分で思える方。友達に言ってもらえるのもうれしいけど、自分がしっくりこないとなんかモヤモヤする。

パートB：メイクを始めたきっかけ

AI モデレーター：あんちゃん、メイクっていつごろから始めたの？

杏：3年生くらいかな。ダンスの発表会の時に、先生がメイクしていいよって言って。

AI モデレーター：その時どんな気持ちだった？

杏：なんかすごくうれしかった。大人っぽくなれる感じがして。鏡見たら、なんか別人みたいで。

AI モデレーター：別人みたいで、ってどんな感じだった？

杏：なんか、ステージに立つ人みたいな感じ。いつもの自分じゃない感じがして、それがなんかよかった。

AI モデレーター：それって怖い感じ？それともわくわくする感じ？

杏：わくわくする。なんか、かっこいい自分になれた感じ。

AI モデレーター：その後、発表会以外でもやるようになったのって、何かあった？

杏：YouTube でメイク動画見るようになって。やってみたくなった。

AI モデレーター：どんな動画が好きで見てたの？

杏：韓国アイドルのメイク動画とか。あと、ダンサーの人がメイクしてる動画。

AI モデレーター：ダンスとメイクってあんちゃんの中でつながってる感じがする？

杏：うん、つながってる。ダンスする時ってメイクしてた方がかっこいいし、メイクするとダンスも頑張れる気がする。

AI モデレーター：目指してるメイクってある？

杏：かっこよくてかわいい感じ。ダンサーっぽい感じのメイク。

AI モデレーター：ダンサーっぽいメイクってどんな感じ？

杏：なんか、ブラウンとかで目元をしっかりめにして、でもかわいさもある感じ。派手すぎないけど、ちゃんとしてる感じ。

AI モデレーター：あんちゃんが見てるダンサーの人って、どんな人？

杏：YouTube とか TikTok で踊ってる人。韓国アイドルのダンス練習動画とか、カバーダンスしてる人とか。

AI モデレーター：その人たちのどんなところが好きなの？

杏：踊りがうまいのと、メイクもかっこよくて。なんか、ダンスとメイクが両方かっこいい感じ。あと、自分と同じくらいか、ちょっと上くらいの子もいて。

AI モデレーター：自分と同じくらいの子もいるんだね。その子たちを見てどう思う？

杏：なんか、自分もこんなふうになりたいって思う。踊りもメイクも。

AI モデレーター：なんでその人たちの動画を見るようになったの？最初のきっかけは？

杏：ダンスの練習で韓国アイドルの曲踊るようになって、その曲調べてたらダンス動画とかメイク動画がいっぱい出てきて。そのままずっと見るようになった。

AI モデレーター：その動画見てて、メイクもやってみようって思ったのはなんで？

杏：なんか、ダンスうまい人ってメイクもちゃんとしてるイメージがあって。メイクもできた方がかっこいいなって思っ

パートC：現使用アイシャドウについて

AI モデレーター：今使ってるロムアンドのアイシャドウ、どこで知ったの？

杏：TikTok で見て。ダンス動画見てたら広告で出てきて、かわいいなって思っ

AI モデレーター：他にもいろいろあるじゃない。なんでロムアンドがよかったの？

杏：なんか、色がかっこよくて。ブラウン系がきれいで、ダンサーっぽい感じがした。あと、韓国のブランドっていうのもよかった。

AI モデレーター：韓国のブランドっていうのがよかった、ってどういうこと？

杏：なんか、韓国アイドルとかダンサーが使ってるイメージがあって。なんかそれだけでカッコいい感じがして。

AI モデレーター：ロムアンドはお年玉で自分で買ったんだよね。自分のお金で買おうって決めたのはなんで？

杏：なんか、自分で選んで自分で買いたかった。お母さんにおねだりしたら、どれでもいいじゃないって言われそう。

AI モデレーター：お母さんにおねだりしたら「どれでもいい」って言われそう、か。それって嫌だったの？

杏：うん。自分がこれがいいって思って選んだものだから、自分で買いたかった。

AI モデレーター：お家の人には何か言った？

杏：買う前に一応言った。お年玉で買っていいかって。

AI モデレーター：お母さんはなんて言ってた？

杏：最初はちょっと高いんじゃないって言ってたけど、自分のお年玉だからって言ったら OK になった。

AI モデレーター：買った時どんな気持ちだった？

杏：めっちゃうれしかった。自分で決めて買ったから、なんか特別な感じがした。

AI モデレーター：使ってみてどうだった？

杏：思った通りカッコよくて、すごく気に入った。ダンスの練習の時につけてみたら、テンション上がった。

AI モデレーター：お母さんって、あんちゃんが発表会以外の時もメイクするのって、何か言ってた？

杏：最初はちょっと早いんじゃないって言ってた。小学生がメイクするのはどうかなって。

AI モデレーター：そこからどうなったの？

杏：なんか、ダンスの時は OK だったから、お出かけの時もちょうとだけならいいかなってなった感じ。

AI モデレーター：ちょっとだけならってなったのって、あんちゃんが何か言ったから？それともお母さんが自然にそうなった？

杏：なんか、派手なのじゃなくてナチュラルな感じならいいかなって、お母さんが言ってた。ロムアンドのブラウン系見せたら、これくらいならいいかって。

AI モデレーター：お母さんにロムアンドを見せたんだね。見せようと思ったのはなんで？

杏：なんか、派手じゃないって思ってたから。これなら大丈夫かなって思ってた。

AI モデレーター：お母さんが OK してくれるかどうか、ちゃんと考えて見せたんだね。

杏：うん。いきなり派手なの買ったら絶対ダメって言われると思って。

パート D：キャンメイクについて

AI モデレーター：あんちゃん、キャンメイクって知ってる？

杏：知ってる。友達が持ってる子多いし、ドラッグストアでよく見る。

AI モデレーター：キャンメイクってどんなイメージ？

杏：なんか、かわいい感じ。ピンクとかオレンジとか、明るい色が多いイメージ。あと、値段が安いイメージ。

AI モデレーター：かわいい感じ、明るい色、値段が安い。あんちゃんにとってそれってどういう印象？

杏：なんか、悪くないけど、なんか子供っぽい感じがちょっとする。ロムアンドの方がなんかかっこいいイメージ。

AI モデレーター：子供っぽい感じがする、ってどういうところでそう思う？

杏：なんか、色が明るすぎるイメージ。ピンクとかオレンジとか。私はブラウン系が好きだから、なんかキャンメイクは自分には合わないかなって思ってた。

AI モデレーター：思ってた、って過去形だけど、今は違う？

杏：なんか、キャンメイクにもブラウン系あるって友達に聞いて。それなら買ってみたいかなって。

AI モデレーター：キャンメイクのブラウン系なら買ってみたい、ってなったのはなんで？

杏：なんか、友達が持っていて見せてもらったら、思ったより大人っぽくてかわいかった。あと、値段もロムアンドより安いし。

AI モデレーター：値段が安いのがって大事なポイントなの？

杏：うん。自分のお金で買うから。ロムアンドは高かったから、次は少し安いのもいいかなって。

AI モデレーター：次は自分のお金でキャンメイク買いたいって思ってる？

杏：うん。でも、ロムアンドも好きだから、両方持ちたい感じ。使い分けたい。

AI モデレーター：使い分けたいって、どういうふうに使い分けるイメージ？

杏：なんか、発表会とかダンスの時はロムアンドで、普段のお出かけはキャンメイクで、みたいな。

AI モデレーター：それってなんで？

杏：なんか、ロムアンドはちょっと気合い入れたい時で、キャンメイクはもうちょっと気軽な感じで使えそう。

AI モデレーター：さっきキャンメイク見せてくれた友達って、学校の友達？

杏：うん、学校の友達。クラスの子。

AI モデレーター：友達の間でメイクの話ってよくする？

杏：うん、する。どのアイシャドウ持ってるとか、どこで買ったとか。

AI モデレーター：友達の間ではキャンメイク持ってる子が多い感じ？

杏：うん、多い。ロムアンド持ってるのは私ともう一人くらいかな。

AI モデレーター：友達の中でロムアンド持ってるのが少ないって、あんちゃんはどっ思ってる？

杏：なんか、ちょっと特別な感じがしていい。みんなと同じじゃないのがなんか好き。

AI モデレーター：みんなと同じじゃないのが好き、か。それってメイク以外にもそういう感じある？

杏：うーん、ダンスとかも。クラスであんまりダンスやってる子いないから、なんかそれも特別な感じがして好き。

AI モデレーター：そうなんだ。ダンスやってる子結構いるって聞くけど、あんちゃんのクラスはそうじゃないんだね。

杏：うん、スクールとかには通ってる子いるかもしれないけど、クラスでダンスの話する子はあんまりいない感じ。

AI モデレーター：クラスでダンスの話できる子が少ない、って寂しくない？

杏：ちょっとそれはある。でも、ダンス仲間は別にいるから。スクールの子たちとは話せるし。

AI モデレーター：ダンス仲間とメイクの話もする？

杏：うん、する。スクールの子たちの方がメイクに詳しい子多いし、発表会の時みんなでメイクするから。

AI モデレーター：スクールの子たちとメイクしながら発表会に出る、ってどんな感じ？

杏：なんか、みんなで同じ目標に向かっている感じがして楽しい。メイクもダンスも一緒にがんばってる感じ。

パートE：メイクをがんばる理由・これから

AI モデレーター：あんちゃんって、なんでメイクをがんばってると思う？

杏：なんか、ダンスの時にカッコよくいたいから。あと、自分になりたい感じになれるから。

AI モデレーター：自分になりたい感じ、ってどんな感じ？

杏：なんか、カッコよくて、ちゃんとしてる感じ。ダンサーっぽい感じ、かな。

AI モデレーター：ダンサーっぽい感じになれてる時って、どんな気持ち？

杏：なんか、自分のことが好きになれる感じ。鏡見て、よし、ってなる。

AI モデレーター：メイクしてない時の自分とは違う？

杏：全然違う。メイクしてると、なんか自分がちゃんとした人みたいな感じがする。

AI モデレーター：これからやってみたいメイクってある？

杏：アイラインとかやってみたい。目元をもっとはっきりさせたい。

AI モデレーター：なんでアイラインをやってみたいの？

杏：なんか、ダンサーの人ってアイラインひいてる人多くて。目がはっきりしてカッコいいなって。ステージで映える感じがして。

AI モデレーター：メイクってあんちゃんにとってどんなもの？

杏：なんか、自分をもっとよくしてくれるもの。ダンスも、見た目も、気持ちも。全部上げてくれる感じ。

AI モデレーター：あんちゃんってダンサーになりたいの？

杏：うーん、なりたいけど、なれるかはわかんない。でも、ダンスはずっと続けたいと思ってる。

AI モデレーター：なりたいけどなれるかわかんない、か。それってどういうこと？

杏：なんか、プロになるのって難しいじゃない。でも、ダンスが好きだから、仕事にできたらいいなと思う。

AI モデレーター：ダンスを仕事にできたらいいな、って思ってるんだね。そのイメージの中で、メイクってどんな存在？

杏：なんか、ダンサーはメイクもできないといけないイメージがあって。だから、今からちゃんとできるようになりたい。

AI モデレーター：今からちゃんとできるようになりたい、か。メイクの練習もダンスの練習と同じ感じ？

杏：うん、そうかも。なんか、両方うまくになりたい。ダンスだけじゃなくて、メイクも含めてダンサーって感じがする。

AI モデレーター：あんちゃん、今日はいろいろ話してくれてありがとう。最後に一個だけ聞かせて。今日話してみてどうだった？

杏：なんか、自分がなんでメイクするのかって、改めて考えた感じがした。ダンスと一緒に考えてたんだなって。

AI モデレーター：話しながら気づくことってあるよね。今日話してくれたこと、すごく参考になったよ。ありがとうね。

杏：うん。またこういうの話したい。

AI モデレーター：嬉しいな。今日はありがとうございました。